

シマムセン訪問記(2024.11.23)(HP 掲載)

1. はじめに

アキュフェーズのプリアンプには位相切り替え機能があり、CD の位相を調べることができそうなので、購入予定品の受け取りかたがた試聴に行ってきました。

2. 試聴機器と設置状況

今回の訪問目的は、アキュフェーズのプリアンプには位相切り替え機能を利用して、CD の位相を調べることです。

使用機器と条件設定は以下のとおりです。

SACD/CD トランスポート：アキュフェーズ DP-1000

DAC：アキュフェーズ DC-1000

プリアンプ：アキュフェーズ C-3900

Phase ボタン Invert 切り替え (Invert で位相反転)

バランス出力

パワーアンプ：アキュフェーズ A-300×2-

バランス入力

スピーカー：TAD GE1-WN

試聴用 CD はアナログマスターからの CD を 2 枚、デジタルマスターからの CD を 2 枚準備しました。

DECCA UCCD-9823/24

J.S.Bach Sonatas & Partitas

アルチュール・グルミヨー (ヴァイオリン)

Deutsche Shalplatten TKKC 70027

J.S.Bach 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

カール・ズスケ (ヴァイオリン)

SONY CLASSICAL SICC 30087

J.S.Bach 無伴奏ヴァイオリンパルティータ 2 番・3 番

無伴奏ヴァイオリンソナタ 3 番

ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)

UCJ UCCY 1050

J.S.Bach 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

千住真理子 (ヴァイオリン)

3. 試聴結果

上記の CD をアキュフェーズ C-3900 の Phase ボタンの Invert 切り替えをしながらそれぞれの CD から無伴奏ヴァイオリンパルティータ 2 番のシャコンヌを聴いていきました。なお、訪問に先立ち、事前に EMT981 から再生し、TruPhase の位相反転機能を利用した確認を行っています。

システムのレベルが高いので、Phase ボタンの Invert 切り替えの如何に拘わらず、違いが分かりにくいのですが、スピーカーの中央で聴くと違いが確認できました。

アナログマスター由来のグルミヨー演奏の CD とズスケ演奏の CD は、Invert オンでヴァイオリンが中央に寄り、デジタルマスター由来の ヒラリー・ハーン演奏の CD と千住真理子演奏の CD は、デフォルトでヴァイオリンが中央に寄り、Invert オンで音が広がって散漫になりました。

4. まとめ

EMT981 と TruPhase の組み合わせと同様、上記システムにおいても、アナログマスターの 2 枚の CD は逆相、デジタルマスターの 2 枚の CD は正相らしいことが分りました。

以上